硬式野球部からのお知らせ

平成２８年度　秋季東海高等学校野球大会の結果

２回戦　１０月２３日(日)　清水庵原球場

対至学館高校戦 は １－２で敗戦しました。

応援ありがとうございました。

多治見 競り負け

秋季東海高校野球 県勢は姿消す

静岡市の草薙球場と清水庵原球場で二十三日行われた秋季東海地区高校野球大会の二回戦で、シード校の多治見（岐阜一位）は1－2で至学館（愛知三位）に敗れた。県勢は一回戦で敗退した麗澤瑞浪と美濃加茂とともにいずれも姿を消した。（杉野友輔）

好機に一本出ず

多治見

⑬…先制した多治見が、至学館に逆転負けした。

多治見は二回、佐藤の安打を足がかりに、河地の中前適時打で1点を先取。先発河地は三回、安打と失策により2死二、三塁のピンチを招くと、右越えの三塁打を浴び、2点を失った。攻撃ではその後、好機であと一本が出なかった。

▽二回戦

多治見	0	1	0	0	0	0	0	0	0
至学館	0	0	2	0	0	0	0	0	x

（多）河地―山田
（至）川口、新美、川口、新美―井口

至学館戦に先発した多治見の河地投手＝静岡市の清水庵原球場で

【多治見】打安点
(捕)山田 4 1 0
(二)熊崎 4 0 0
(中)加藤 4 1 0
(一)佐藤 4 1 0
(走)小幡 3 0 0
(三)岡井 2 0 0
(左)進士 2 0 0
(右)後藤 3 0 0
(投)河地 3 1 0
(遊)小西 3 0 0
振球犠併残
9 2 3 0 6 29 6 1

【至学館】打安点
(右)定塚 4 0 0
(中)藤原連 3 1 2
(三)鎌倉 3 0 0
(捕)井口 3 2 0
(左)三浦 3 0 0
(走)清水唯 1 0 0
(左)大谷 0 0 0
(投)新美 1 0 0
(一)吉見 2 1 0
(二)中根 1 0 0
(遊)木村 3 1 0
(投)川口 2 0 0
(左)清水瑶 0 0 0
(二)三藤原大 2 0 0
振球犠併残
1 0 2 0 2 26 4 2

三藤原連盗 至1 失 多1

好投も一球に泣く　多治見・河地投手

多治見の河地京太投手(二年)は、最後の打者が打ち取られたとき、三回の自分の失投を一番に悔いた。

2死二、三塁のピンチ。2ボール2ストライクから、信頼する山田智也捕手（二年）は高めの直球を要求。外野フライで打ち取る予定だった。しかし、思った以上に力んでしまい、制球はやや外側にそれ、勢いも欠いた。打球は外野を越え、これが結果的に相手の決勝点となった。

「初めての東海大会ということで緊張してしまったところもあった」と目線を地面に落とす。

しかし五回からは、一回戦で9点を取る猛攻を見せた至学館打線を相手に、一人の走者も出さない完璧な投球を見せた。「自分のボールには自信がある。ストライクゾーンで勝負し、打たせて取ることができた」と振り返る。高木裕一監督も「粘り強く投げたと思う」とたたえた。

夏の県大会の初戦敗退から、秋季県大会優勝という躍進を見せた多治見。河地投手は今後「大きな目標を掲げるより、練習試合を含めて目の前の一戦一戦を大切にしていきたい」と謙虚に話した。

「中日新聞(朝刊)平成 28 年 10 月 24 日付掲載」

（この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています）